

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012

別紙1(視点1:設備の省エネルギー性能) V地域用

2012.11.21 版

■「Q値計算書」(面積表・熱貫流率計算書)を添付して下さい。

フォーマットは <http://www.jcadr.or.jp/> からダウンロードできます。

複数地域に同一断熱性能で応募する場合、Ⅰa・Ⅰb・Ⅱ地域でまとめて1部、Ⅲ～Ⅵ地域でまとめて1部でかまいません。

■「一次エネルギー計算書」(「住宅事業建築主の判断基準」のウェブサイト <http://ees.ibec.or.jp/> での計算結果)を添付して下さい。

複数地域で応募する場合、地域ごとに1部添付して下さい。

■省エネルギーに関する仕様の詳細

設問に従い、各項目にチェックおよび仕様等を記入して下さい。

なお、ここで記入する設備種類・仕様等は、原則として上記の「一次エネルギー計算書」の入力内容と整合させて下さい。

1. 地域区分(本資料はV地域での応募用です)

☒ V地域

2. 設備の仕様について

標準で採用する設備について、そのメーカー・型番・仕様等を記入して下さい。なお、用語の定義等については「住宅事業建築主の判断基準」ウェブサイト(<http://ees.ibec.or.jp/>)のFAQや解説を参考にして下さい。

2-1 暖房設備

(1) 暖房設備の設置・運転方式について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 住宅全体または全居室を連続的に暖房する →引き続き(2)に記入して下さい
- ☐ 各居室を間欠して暖房する →引き続き(3A)(3B)に記入して下さい
- ☐ 暖房設備は設置しない →2-2 冷房設備 に進んで下さい

(2) 全体・全居室連続暖房に用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ ヒートポンプ式セントラル空調システム →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
暖房定格能力[W]：	暖房定格消費電力[W]：

- ☐ その他の暖房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー：	製品型番：
概要：	

別紙 1

(3A) 各居室間欠暖房の場合で LDK に用いる設備について、該当するものに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ ルームエアコンディショナー →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：	
暖房 COP：	暖房定格能力[W]：	暖房最大能力[W]：

- ☐ FF 式暖房設備 →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：	
定格最大能力[W]：	定格効率[%]：	定格消費電力[W]：
連続燃焼能力の下限值[W]：		

- ☐ 温水式床暖房 →パネルのメーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。また、(4A) (4B)にも記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
敷設率[%]：	上面放熱率[%]：

- ☐ ファンコンベクタ →メーカー・製品型番を記入して下さい。また、(4A) (4B)にも記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

- ☐ その他の暖房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー：	製品型番：
概要：	

(3B) 各居室間欠暖房の場合で LDK 以外の居室に用いる設備について、該当するものに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ ルームエアコンディショナー →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：	
暖房 COP：	暖房定格能力[W]：	暖房最大能力[W]：

- ☐ FF 式暖房設備 →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：	
定格最大能力[W]：	定格効率[%]：	定格消費電力[W]：
連続燃焼能力の下限值[W]：		

- ☐ ファンコンベクタ →メーカー・製品型番を記入して下さい。また、(4A) (4B)にも記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

- ☐ その他の暖房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー：	製品型番：
概要：	

別紙 1

(4A) 暖房設備として温水床暖房・ファンコンベクタ等を用いる場合、熱源設備について該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ コージェネレーション →2-2 冷房設備 に進んで下さい。
☐ 石油熱源機 →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格効率[%]：	定格能力[W]：

- ☐ ガス熱源機（従来型） →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格効率[%]：	定格能力[W]：

- ☐ ガス熱源機（潜熱回収型） →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格効率[%]：	定格能力[W]：

- ☐ 電気ヒートポンプ式熱源機 →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
定格能力[W]：	定格消費電力[W]：

(4B) 温水床暖房・ファンコンベクタ等を用いる場合、配管の断熱について該当する方に✓を記入して下さい。

- ☐ 配管断熱あり
☐ 配管断熱なし

2-2 冷房設備

(1) 冷房設備の設置・運転方式について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 住宅全体を連続的に冷房する →引き続き(2)に記入して下さい
☐ 各居室を間欠して冷房する →引き続き(3A) (3B) に記入して下さい
☐ 冷房設備は設置しない →2-3 換気設備 に進んで下さい

(2) 全体連続冷房に用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ ヒートポンプ式セントラル空調システム →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
冷房定格能力[W]：	冷房定格消費電力[W]：

- ☐ その他の冷房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー：	製品型番：
概要：	

別紙 1

(3A) 各居室間欠冷房の場合でLDKに用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☐ ルームエアコンディショナー →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
冷房 COP：	冷房定格能力[W]：
	冷房最大能力[W]：

☐ その他の冷房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー：	製品型番：
概要：	

(3B) 各居室間欠冷房の場合でLDK 以外の居室に用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

☐ ルームエアコンディショナー →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
冷房 COP：	冷房定格能力[W]：
	冷房最大能力[W]：

☐ その他の冷房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー：	製品型番：
概要：	

2-3 換気設備

(1) 主要な換気設備および熱交換器について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ ダクト式第 1 種換気設備 →(2) (3) に記入して下さい
- ☐ ダクト式第 2 種または第 3 種換気設備 →(2) (3) に記入して下さい
- ☐ 壁付け同時給排気型ファン →(2) に記入して下さい
- ☐ 壁付け給気型ファンまたは壁付け排気型ファン→(2) に記入して下さい

(2) 採用するファンのメーカー・型番・消費電力を記入して下さい。

(ファン) メーカー：	製品型番：
消費電力[W]：	

(3) ダクト式の換気設備の場合、DC モーター式のファンを採用するかどうか、該当する方に✓を記入して下さい。

- ☐ DC モーターを採用する
- ☐ DC モーターを採用しない

別紙 1**2-4 給湯設備**

(1) 給湯器について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。また、いずれを選択した場合も(2)に記入して下さい。

☐ コージェネレーション

☐ ガス瞬間式（従来型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ ガス瞬間式（潜熱回収型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 石油瞬間貯湯式給湯器 →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 石油瞬間式（従来型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 石油瞬間式（潜熱回収型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 電気温水器（CO₂ヒートポンプ式） →メーカー・製品型番およびAPF を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：	APF：
-------	-------	------

☐ ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型 →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 設置しない

(2) 節水・節湯器具および太陽熱温水器等について、以下の器具等で標準採用するものがあれば✓を記入し(複数記入可)、採用する器具についてはメーカー・型番等を記入して下さい。

☐ 小口径配管

☐ 台所の手元止水器具（止水が容易な機構）

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 台所の小流量吐水器具

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 浴室の手元止水器具（止水が容易な機構）

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 浴室の小流量シャワーヘッド

メーカー：	製品型番：
-------	-------

☐ 太陽熱温水器

メーカー：	製品型番：
パネル有効集熱面積[m ²]:	

別紙 1

2-5 照明設備

(1A) LDK の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →(2A)に進んで下さい
- ☐ 標準の照明器具を設置する →引き続き(1B)に記入して下さい

(1B) LDK に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

- ☐ 白熱灯を一切使用しない
- ☐ 調光機能付き器具を採用する(採用する器具は1つ)
- ☐ 調光機能付き器具を採用する(採用する器具は2つ以上)

(2A) LDK 以外の居室の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →(3A)に進んで下さい
- ☐ 標準の照明器具を設置する →引き続き(2B)に記入して下さい

(2B) LDK 以外の居室に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

- ☐ 白熱灯を一切使用しない
- ☐ LDK 以外のすべての居室において、なんらかの調光機能付き器具を採用する

(3A) 非居室部分の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →2-6 太陽光発電設備に進んで下さい
- ☐ 標準の照明器具を設置する →引き続き(3B)に記入して下さい

(3B) 非居室部分に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

- ☐ 白熱灯を一切使用しない
- ☐ 人感センサーまたは照度センサーを採用する(該当する器具は1つ)
- ☐ 人感センサーまたは照度センサーを採用する(該当する器具は2つ以上)

2-6 太陽光発電設備

(1) 太陽光発電設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ☐ 太陽光発電設備を標準で設置する →引き続き(2)に記入して下さい
- ☐ 太陽光発電設備を標準では設置しない →2-7 コージェネレーション に進んで下さい

(2) 2 階建て・延べ面積 120m² 程度の住宅における標準的な太陽光発電設備のメーカー・型番・容量等を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
システム容量[kW]：	

2-7 コージェネレーション

(1) コージェネレーションについて、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

なお、コージェネレーションを採用する場合は 2-1 暖房設備の(4A)、および 2-4 給湯設備の(1)で「コージェネレーション」を選択して下さい。

- ☐ コージェネレーション設備を標準で設置する →引き続き(2)に記入して下さい
- ☐ コージェネレーション設備を標準では設置しない →別紙 1 の記入は終了です

(2) 設置するコージェネレーション設備で、該当するもの一つに✓を記入し、いずれの場合もメーカー・製品型番および総合効率を記入して下さい。

- ☐ ガスエンジンコージェネレーション
- ☐ 燃料電池コージェネレーション Type1
- ☐ 燃料電池コージェネレーション Type2
- ☐ 燃料電池コージェネレーション Type4

メーカー：	製品型番：
総合効率[%]：	